

No.9 小中一貫教育推進事業 (総務・学校教育課)

令和元年度にめざした姿(目的)

中学校区のコミュニティ・スクールを基盤として、教職員、保護者、地域住民が「めざす子ども像」を共有化し、一貫した教育を推進します。

令和元年度にめざした成果

中学校区を基盤として、教職員、保護者、地域住民がめざす子ども像を知り、一貫した教育につなげます。

令和元年度にめざした活動(主な取組み)

- 中学校区コミュニティ・スクールの確立を進めます。
- 小中一貫した「協同学習」（※）の授業実践を進めます。
- 地域と協働した「まち未来科」の充実を進めます。
※「協同学習」…同じめあてに向かって協力して学ぶ

令和元年度の成果

中学校区及び各校のグランドデザインにより、めざす子ども像を示し、保護者、地域住民に知らせることができました。
会議や学校支援活動等で、めざす子ども像を意識することにつながりました。

令和元年度の問題

めざす子ども像を、実際の活動にあてはめられるよう、より具体化する必要があります。

令和2年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

方法の工夫により、熟議とそれに基づく活動のより一層の充実を図ります。

(2) 解決すべき問題への方策

中学校区学校運営協議会（委員会）での熟議を活動に反映させます。

(3) 新たに取組む方策

学校・家庭・地域が協働した、新たな活動を生みだします。